

田んぼの生き物

岡田富子（千葉市）

日 時：2012 年 9 月 9 日（日） 13～15 時 天候：雨のち晴れ

参加者：23 名（大人 9 名 子ども 14 名） 指導員：20 名

担当指導員：山下美佐子 武田宏子 岡田富子

昭和の森には小さな田んぼがあります。昭和 42 年の写真を見ると谷津田の様子が分かります。しかし現在は田んぼとして使われなくなって 30 年以上。そこを田んぼにしようと 2011 年からゲンジボタル愛護会～ビオトープの会で切り拓いてきました。今年豊約 75 枚分の大きさになりました。もちろん無農薬そして無肥料です。どうして田んぼなの？ それは前の年へイケボタルがたくさん飛んでいるのを見た事がきっかけです。「6 月にゲンジボタル、7 月にはへイケボタルが見られたらうれしいね！」そんな夢からへイケボタルもみられる環境にしたいと始めたのです。造り始めてから色々な生き物に出会うのも楽しみになりました。水中の生物、稲にいる昆虫、蜘蛛類、小さな蛙達、空にはトンボ、蝶や鳥。稲にとっての害虫もそれらを狙う天敵も普通の虫もみんな必要な命です。さすがにアメリカザリガニは困りものですが…

（農具の一つ“虫見板”で益虫や害虫を調べ農薬の散布回数を減らす事になったそうです。…動くのは益虫、動かないのは害虫） 今回虫見板をつかって害虫の数を調べましたがウンカと思われる 1mm 位の虫がほんの少し落ちました。

そんな田んぼの生き物の観察会を親子 23 名の参加者の方々と 3 つの班に分かれて見に行きました。午前中に雨が降り雷の音も聞こえていて心配しましたが、一転して午後は青空、暑すぎる天気になりました。ガマの生える池には大きなウシガエルのオタマジヤクシ（後ろ脚が出ていた）、メダカ、マツモムシ、チョウ、イナゴ、アメリカザリガニ、アマガエル。また食事に来たのでしょうかヤマカガシの姿が！ 午前中いたはずのアケビコノハの幼虫の姿が見えません。ひよっとするとすぐそばにいたカマキリのお腹の中に？ 田んぼ近くではヒメゲンゴロウ、コムズムシ、アメンボ（匂いは分からなかった）、ミジンコ、プランクトン等をファーブルやカップレンズで覗きました。倒れた稲をひもで起こし、歩けるようにしていただき、水中の虫をつかまえようと網を持って格闘！ ヒメゲンゴロウなどを見つけ声を上げました。土手にはツルボが盛りと咲いています。またカモメヅル、ヤブツルアズキの花も見られ、近くにはクサギの木が。皆で花や葉のにおいを嗅いで謂れに納得！ ホタル水路には沢山のカワニナが見られ来年のゲンジボタルに期待しました。滲みだし水の池には貴重な生物、トウキョウサンショウウオが早春に産卵に来ます。近くでサワガニのお母さんが我が子を抱え守っている姿に出会い感激！ 斜面にはウド、ヌスビトハギ、フジカンゾウ、ユウガギク、タデの仲間等々の花々が咲き、オニヤンマもパトロールに余念がありません。タマアジサイの花咲く道を抜け、階段を登り、植え込みに咲くガガイモの花を見て無事東屋に帰ってきました。皆さんに感想をお聞きすると、「自然の中で沢山の生き物に出会い楽しかった」と言っていたら、ほっとしました。最後に公園事務所に戻ると、ツツドリと思われる鳥がタカに襲われたのか、羽があたり一面に散らばり、体半分を食べられ横たわっている姿を目の当たりにして、自然界のドラマに感動した一日でした。

